

こんにちは♪ 「うさぎフェア」には、本当にたくさんの生徒たちがうさぎを数えに来てくれて、ありがとうございます♪ 何回も何回も一生懸命うさぎを数えてくれる姿は、ちょっと感動的でしたよ。正解は**60羽**(!)。※せーやさん含むw、でした。本当はもっといるのですけれどね（せーやさんが着ていたミッフィーだらけのシャツのミッフィーの数も入れたら百を超えます!）。チャレンジしてくれたみんなにはお菓子、正解者には豪華景品を差しあげました。まさかそんなにいるとは思わなかったでしょう？ おそらく日本中の図書館でいちばんうさぎのいる図書館だと思います。どうしてそんなにたくさんうさぎがいるのかって？ 『不思議の国のアリス』で、アリスはうさぎを追いかけて不思議の国にたどり着くでしょう？ うさぎは夢の世界への案内人なのです。図書館にぴったりの動物だとは思いませんか？ 単にせーやさんがうさぎ好きだという理由ばかりではないのですよ。ちなみにユニコーンは 13 匹（ノエルちゃん!）、ニョロニョロは 46 匹、ねこも 46 匹おります。センザンコウもアノマロカリスも 2 匹ずつ、今年の干支のドラゴンも 5 匹います。こんな図書館はなかなかないですよ！ これらの生きものたちはみんな、キミたちを歓迎するために図書館にいるのですよ。

さて、いよいよGWですね！ 本のまとめ借り、大歓迎です！ おそらく張りつめていた4月にさよならして、ひと息ついて本を読んでみてはいかがでしょうか？

☆『アルプス席の母』 早見和真

「アルプス席の母に、いいところを見せてあげたかったんです」。「すべてのきっかけは、お母さんの期待に応えたいっていう思いからだっと思います」。みなさんが部活を続けるために、お母さんがどんなにがんばっているか、ご存知でしょうか？ 名著『ひゃくはち』で高校野球を補欠選手の視点から描きだした著者の新作は、高校野球児ではなくそのお母さんが主人公です！ 息子・航太郎が9歳のときに事故で夫を亡くしている菜々子は、看護師として働きながら、家のこともすべてこなしながら、息子の野球を支えている。中学生の航太郎は神奈川県シニアリーグでエースとして活躍し、全国大会で優勝までしてみせるが、憧れの大阪の甲子園常連校・山藤にスカウトされることはかなわず、特別特待生枠で入学できる同じ大阪の新興私立高へと進学する。航太郎は大阪で寮生活をするようになるが、菜々子もまた仕事を辞め大阪で新しい生活を始めることに決める。航太郎は山藤を破って甲子園へと行けるのだろうか。「おかん」と呼ぶことを禁ずる菜々子は、高校球児の母親として奮起する…。

『トラペジウム』 高山一実

「初めてアイドルを見た時思ったの。人間って光るんだって」。乃木坂 46 第一期生の高山一実が書いた小説が、アニメ映画化！タイトル「トラペジウム」については最後まで説明されませんが、いびつな四角形が語源で、オリオン座のなかの4つの若い明るい星を意味します。ぜったいアイドルになりたい田舎の高1の女の子が、仲間を集めてアイドルをめざす小説。その仲間たちのことがトラペジウムになぞらえられているのです。正攻法ではアイドルになれないことをよく知っている（オーディションにはすべて落ちた）東ゆうは、アイドルになるという夢を叶えるため、城州地方の東西南北4つの学校から一人ずつ集めてアイドルグループをつくろうと暗躍する。東の星は、城州東高校に通い名字も東である自分自身。南の星は、学費が公立の5倍以上と噂されるお嬢さま女学校・聖南テネリタス女学院の縦ロールの“お蝶婦人”（ただしテニスはやヘタ）こと華島蘭子。西の星は、西テクノ高専のロボット研究会のプリンセス、小柄だから許される萌え袖と髪をくくるうさぎのゴムがトレードマークの大河くるみ。そして、残りの北は…。東は学校に潜入して友だちになることから始めて、アイドルになりたいという夢のことは隠して、見いだした彼女たちとの絆を深めていきます。意外と計算高く策略家の彼女は、単にアイドルにあこがれているだけではなく、アイドルになってからのイメージ作りのためにボランティアに挑戦したり、なんとか注目されようと地域のお城の観光ボランティアを試みたりしますが…。「夢というものはどうすれば叶うのか本気で考えた」。湊かなえの『告白』を読んで本好きになったそうですが、彼女の作品が「ふだん本を読まない」層を巻き込んでいることは確実です。

『^{あるじ}鳥は主を選ばない』 阿部智里

累計発行部数 200 万部の〈八咫鳥〉シリーズ」がアニメ化！『火狩りの王』に続く本当に面白いファンタジーはこれだ！舞台は、平安時代の日本のようだが、人間の代わりに「八咫鳥」が住まう世界「山内」。八咫鳥は、卵で生まれ、通常は人間の姿をしているが、鳥の姿へと転身できる。山内をつかさどる族長一家の長である「日嗣の御子」に仕えることになった元服前の少年が今作の主人公。つぎの金鳥である若宮はいささか変わっていた。有力貴族である四家がそれぞれの后候補を桜花宮に住まわせているのに、ちっともそこには近づかず花街で遊びまくっているのだ。その美貌に反して使用人へのあたりは強く、いままでに何人もの若者がその勤めを辞めているという…。

『湖の女たち』 吉田修一

吉田修一の凄みが感じられる大傑作が、福士蒼汰&松本まりか W主演で映画化！ 琵琶湖近くの介護療養施設「もみじ園」で、百歳の男が低酸素脳症により亡くなる。はたして彼は人工呼吸器の不具合によってなくなったのか？ それとも当直の看護師、介護士たちの業務上過失により亡くなったのか？ あるいは何者かに殺害されたのか？ 介護士が看護師たちへの恨みから犯罪を行ったのだろうという読みから、一人の女性介護士が刑事の厳しい追及を受ける。捜査のなかで、元ミス琵琶湖で出産を間近に控えた妻を持つ刑事・濱中圭介と、8歳で母を亡くし祖母の深い愛情のもとで育てられ、3年目にその祖母を亡くし、父が還暦をまえに新しい女といっしょになり、ひとりになり「ぜんぜん佳代のこと見てない」男とつきあい、「もみじ園」で働く介護士・豊田佳代が会う。一通りの取り調べのなかで初めて出会い、激しい雨のなかで佳代の車が圭介の車に追突し再会したのだった。雨を避けるために佳代の車に乗り込んできた圭介。佳代は、「ずぶ濡れの自分が丸裸にされて、その場に座らされているような、そんな恥ずかしさ」を感じる。祖母が「人をさらう天狗が実は怖くない」ことを教えたとき、「私、怖い天狗さんがええねん！ 私は、怖い天狗さんに連れてってほしいねん！」と幼い彼女は答えたのだった。一方、90年代の薬害事件の取材をする週刊誌の記者は、偶然から「もみじ園」の事件の被害者との結びつきを見つけ、その背後に隠された過去、旧満州・ハルビンでの悪の歴史へと辿り着く…。湖は人を狂気へと誘うのか？ 悪の記憶を呑み込み、湖はただ沈黙するのみ…。

『あとがきはまた 俵万智選歌集』 俵万智 著 渡辺祐真 選

「優しさにひとつ気がつく ×ではなく○で終わる日本語」世間でマルハラ（若者世代が LINE などでの大人世代の文章の最後の句点（○）に威圧感を感じて怖がること）が騒がれているなか、このような句を投稿してほっこりとさせてくれた俵万智さん。この本は、歴史的ベストセラーのデビュー作『サラダ記念日』から、最新作『アボガドの種』までのなかから、書評家の渡辺祐真とともに選んだ彼女のベストセレクションです！
「落ちてきた雨を見上げてそのままの形でふいに、唇が欲し」「『寒いね』と話しかければ『寒いね』と答える人のいるあたたかさ」「何層もあなたの愛に包まれてアップルパイのリンゴになろう」「つややかなつぼみの皮膚は咲いたなら顧みられぬ裏側になる」「優等生と呼ばれて長き年月をかつとばしたき一球が来る」「シャルドネの味を覚えてくれたひと今も私はシャルドネが好き」

『ともしび』 junaida

「あ、junaida さんの本だ！」と一目見ただけでわかるまたまた独特な本のつくり。全体が淡い黒で、部分的に金の箔が貼られている小さな本です。前作『世界』はまったく字のない驚きの絵本でしたが、今作はなんと絵本ではなく詩画集です。描かれた作品はすべて鉛筆画で、その隣ページに「言葉」が添えられています。「道しるべは 胸のうちに咲く 一輪の灯り」(「ともしび」)「あこがれは たくさんあるほどいい あこがれは 救いだ」(「あこがれ」)「犬は愛 猫は恋」(「ふさふさ」)「見たことはないけれど 描いた景色があった 聴いたことはないけれど 口ずさんだ歌があった 旅したことはないけれど 帰ってきた家があった」(「あのころ」) 絵がすばらしいのはもちろんですが、junaida さんのその言葉のセンスにもハッとさせられることでしょう。

あめくたかお <天久鷹央>シリーズ 知念実希人

本校でも大人気の知念実希人さんの、診断医・天久鷹央が難事件を解決する医療ミステリ。ややこしくなく親しみやすく面白い謎解きのミステリを探していたあなたにもオススメです。短編集の「**天久鷹央の推理カルテ**」シリーズと、一冊一話の長編「**天久鷹央の事件カルテ**」シリーズがあります。ぜひ両方ともコンプリートしてください！「お前の病気、私が診断してやろう」。一族経営である天医会総合病院の 10 階屋上にある統括診断部の長である天久鷹央は、27 歳だけれど小柄で童顔のため、高校生、時には中学生に間違えられることがあり、視覚過敏と聴覚過敏でカレーライスと甘いものしか食べない超偏食、採血ができず予想外のことが起きるとパニックになりやすいなどおおいに偏ったところのある人物だが、アスペルガー症候群、広義のサヴァン症候群による超人的な記憶力・計算力・知能の持ち主で、その特殊能力を生かして統括診断部に持ち込まれたあらゆる事件を解決してしまう…。さて、待望の最新刊は「事件」のほうで、タイトルは『**絶対零度のテロル**』！ 真夏の熱帯夜、緊急搬送された男の死因は「凍死」だった…。シリーズ最大規模の凶悪犯罪を追う、圧巻の書き下ろしの長編です！

——— 「うさぎフェア」で、「ミッフィーってうさぎですか？」と聞かれました！ミッフィーがうさぎじゃなくて何がうさぎなのでしょう！「ムーミンってうさぎですか？」とも聞かれましたが、キミにはムーミンがうさぎに見えるのか!? ちなみに「リサとガスパール」は「犬でもうさぎでもない」のだそう！ では図書館で。

